

ノイバラ

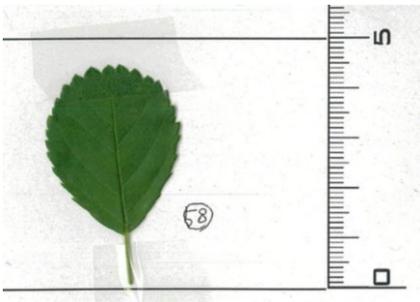
【 区画①(58) 】

がくめい 学名	<i>Rosa multiflora</i> Thunb.	ぶんるい 分類	バラ科バラ属
ぶんぷ 分布	ほっかいどうなんぶ きゅうしゅう はらの かわぎしとう 北海道南部～九州の原野、河岸等	じゅこう 樹高	1～2m程度の落葉小形低木

〈 特徴等 〉

なまえ ゆらい 名前の由来	のぼら やがい は ・野薔薇。野外に生えるバラという意味である。		
は とくちよう 葉の特徴	① じょうりよく 常緑 ・ らくよう 落葉	② こうよう 広葉 ・ しんよう 針葉	
	③ たいせい 対生 ・ ごせい 互生	④ たんよう 単葉 ・ ふくよう 複葉	⑤ きよしえん 鋸歯縁 ・ ぜんえん 全縁
かいかとう 開花等	がつごろ しろいろ たんこうしよくうす あかいろ はな みっしゅう き ・5～6月頃に白色もしくは淡紅色(薄い赤色)の花を密集して咲かせる。		
けつじつとう 結実等	あき た きゅうじよう あか かじつ ・秋になると食べることができる球状の赤い果実をつける。		
ほか その他	えだ すど ・枝には鋭いトゲがたくさんついている。 ・ノイバラの果実は營実(漢名)といい薬用になる。		

〈 写真 〉

		
じゅもく (5/12) 樹木	じゅひ (5/12) 樹皮	は の つけ かた (5/19) 葉の付き方
		
ふくよう うちの一部(小葉) 葉 (6/12)	はな (5/12) 花	かじつ (実) (/) 果実(実)

〈 参考文献 〉 牧野富太郎 (2017) 『新分類 牧野日本植物図鑑』北隆館, p. 635.
林 将之 (2018) 『葉で見わかる樹木 増補改訂版』小学館, p. 232.